

一般社団法人日本地質学会2025年度総会

一般社団法人日本地質学会 2025年度総会議事録

1. 日時 2025年6月7日（土）14:00～15:45
2. 場所 Zoomオンライン会議システムによるWEB会議形式

3. 出席役員

理事：青矢睦月、天野一男、磯崎行雄、岩井雅夫、内尾優子、内野隆之、大坪 誠、大友幸子、岡田 誠、加藤 潔、加藤猛士、香取拓馬、亀高正男、川村紀子、桑野太輔、小松原純子、小宮 剛、坂口有人、佐々木和彦、沢田 輝、下岡和也、杉田律子、高嶋礼詩、田村嘉之、中澤 努、野田 篤、廣瀬 亘、星 博幸、細矢卓志、松田達生、道林克禎、矢島道子、矢部 淳、山口飛鳥、山路 敦、和田穠隆 以上、理事36名

監事：岩部良子・山本正司 以上、監事2名

4. 議長および議事録作成者

総会開催にあたり定款24条に従い本日出席の代議員から、議長として森田澄人代議員を選出した。

議長は審議開始に際し、総会規則第15条に従い書記として澤井みち代代議員ならびに宮川歩夢代議員を指名し、同時に議事録署名人として、両名を指名した。次にオンライン会議システムにより、出席者が一堂に会するのと同様十分な議論を行うことができる環境であることを確認した。

5. 議事の経過の要領及びその結果

出席社員の確認

代議員（＝社員）総数119名

議決権総数 119個

定足数 60個

出席者数 86名（議場出席者37名、議決権行使書22名、委任状27名）

議長は、出席者数を確認し、総会定足数である代議員の過半数60名をこえる出席者があるので成立している旨宣言した。その後、議決権行使書において、すべての議決において賛成であったことを確認し、議事に入った。

第1号議案 2024年度事業報告・決算報告・監査報告

1) 亀高常務理事より、資料にもとづき2024年度の事業報告があった。学術大会、学術研究活動、出版活動、地質災害対応、広報・普及活動、社会貢献、地学教育、国際連携、会員サービス・学会運営の各事業について概要が説明された。学会ウェブサイト（HP）のリニューアルに向けて、新しいHPの整備状況について内尾理事から紹介された。会員動静では、2024年4月末に比べ2名会員数が減少したことが報告されたが、減少幅が小さくなっている。2024年

5月から2025年4月末までに逝去された会員および今年度において逝去が判明した会員12名（うち名誉会員3名）に対し、黙祷を捧げた。次に、2024年度事業経過報告について、次の通り抜粋して報告があった。学術大会では、山形大会独自のイベント（山形城と石材見学会）が開かれた点についてLOCに感謝の意が示された。さらに、各支部の活動実施概要が紹介され、執行理事会および理事会議決・承認事項について、資料から抜粋して報告があった。この中で、名誉会員推薦委員会を立ち上げ推薦を募集したものの、推薦が無かったことから、次回以降の積極的な推薦が呼びかけられた。最後に、2024年度内にご寄付いただいた方（故 石賀裕明会員ご遺族）の紹介があった。

2) 会計担当の加藤猛士理事から、2024年度決算について報告があった。2024年度は241,491円の黒字決算であった。事業活動収入の部では、会費収入は予算に比べ賛助会員の増加などにより微増した。出版事業は、Island Arcの編集費・関連収入等により微増した。年会開催事業収入は、参加登録費の減少分を展示収入の増加により補填した形となった。普及事業収入については、普及企画協賛費の増加により、予想より大幅に増加した。寄附金は年会開催事業での寄付金収入が大きく反映され、増加となった。事業活動支出の部では、概ね予算通りとなった。出版事業に関して、出版編集費等の経費削減の結果、支出が減少している。年会開催事業費は、会場設営・設備費の高騰により、支出が大きくなった。普及事業は、大きな変更はないが、普及イベント実施費用の増加は、学術大会でのアウトリーチ巡検時のバス代を計上したものである。特別事業の支出はなかった。管理費の支出減少は経費削減に努めた結果であることが報告された。

その後、岩部良子監事より監査報告があり、事業報告および計算書類等について適正であることが報告された。

3) 質疑：菊川照英代議員より、会員減少幅が縮小していることに対して学会のどのような取り組みが功を奏しているのか質問がなされた。これに対して、亀高常務理事から、バック制会費・若手活動の活発化などが貢献していると考えられるが、今後精査を進める旨の回答がなされた。加えて、バック制会費の期間が切れた際の退会を避けるための取り組みについて、検討を求められ、継続して在会してもらえように取り組むとの回答があった。ほかにも、学術大会の学生優秀発表賞は、学生のモチベーションを高める役割を担うことから、継続

の希望が述べられた一方、審査員の負担が大きいという問題点について、審査員の幅を広げる・賞の対象者（エントリー）が多いセッションを会期前半に設定するなどの対策の必要性が提案された。これに対して、亀高常務理事も審査員確保の困難さを認識していること、審査側の門戸を広げるなどの取り組みを検討していくとの回答があった。

本議案について採決の結果、全会一致（議場37、議決権行使書22、委任状27）で承認された。

第2号議案 2025年度事業計画

山路会長より、2024年度の本学会の事業成果を踏まえた2025年度の事業計画の基本方針が示された。学術大会は熊本大学にて9/14-16に開催する。学術研究活動および広報・普及活動として、HPの大幅改修を引き続き実施し、近々新サイトへの移行を完了する。出版活動においては、最近の地質学雑誌・Island Arcの安定した出版状況を維持し、会員の多くに魅力的と捉えられているジオルジュの発行を継続する。また、J-Stage掲載論文の検索を可能にするデジタル化に取り組む。広報普及活動として、webでの講演会を実施する。地学教育に関しては、高校「地学」の教科書改訂に向けた意見集約のための準備を行う。会員サービス・学会運営として、会員定着率向上に向け、継続的な若手支援やダイバーシティ拡大に向けた取り組みに加え、新たにシニア層への手当を重要課題として取り組む。地質災害対応、社会貢献、国際連携は昨年度同様に取り組む。本議案に対する質問はなかった。

本議案について採決の結果、全会一致（議場37、議決権行使書22、委任状27）で承認された。

第3号議案 2025年度予算案

加藤猛士理事から、2025年度収支予算案について説明があった。事業活動収入として、会費収入は賛助会員など増加を見込み、2024年度より微増で試算している。出版事業収入は、増加を見込む。年会開催事業については、学術大会運営にかかる費用の高騰を鑑み、参加登録費の値上げによる収入の増加を見込む。普及事業については、特にショートコース等のイベントを継続的に実施し、収入増加を見込む。支部・部会活動については、少しずつ活動が再開されることを期待して計上した。若手育成事業は昨年度の動向を踏まえ計上する。引当預金取崩し収入については大幅に増加とした。これは、若手事業等例年通りの使用に加え、HPリニューアルや学会誌のデジタルアーカイブ（OCR）化、

学術大会、フィールドノート増刷等に割り当てられる予定であることが説明された。支出は概ね前年度並みを見込むが、出版事業は、出版編集費の値上げのため微増が見込まれる。年会開催事業費は、機器賃借料や会場設営・設備費、委託費等の高騰のため、昨年度より増額を見込む。普及事業費は、フィールドノート増刷費のため増額する。支部・部会等活動および若手育成事業では、活性化を見込んだ計上を行っている。研究奨励、特別事業、管理費は例年並みの計上とする。

2019年度の赤字決算以降、2020年度からは5年連続で黒字決算となっているが、概算で2020年度は200万円、2021年度は600万円、2022年度は400万円、2023年度は200万円と学会活動が新型コロナ以前の状況に戻ってきていることから、学会活動を継続的・発展的に行っていただくため、例年より多い引当金を計上することへの理解が求められた。本議案に対する質問はなかった。

本議案について採決の結果、全会一致（議場37、議決権行使書22、委任状27）で承認された。

第4号議案 運営規則の変更

亀高常務理事より、運営規則「第7章 表彰」の「(11) 日本地質学会学生優秀発表賞」の対象者を、「学生会員」から「学籍のある会員」に変更することが提案された。これは、「学生会員」の申請を行わず「正会員」として登録されている学生が、学生優秀発表賞にエントリーできるようにすることを目的とする。また、4月19日の理事会において承認された各賞選考に関連した規則改正についても説明があった。本議案に対する質問はなかった。

本議案について採決の結果、全会一致（議場37、議決権行使書22、委任状27）で承認された。

以上をもって全ての審議を終了した。最後に山路会長より、参加者への謝意が伝えられた。シニア会員の活性化、選挙や各賞の重要性についても言及され、あらゆる分野・立場の会員からの提案・推薦を期待する旨、学会の活性化に向けた協力を期待する趣旨が述べられた。その後議長は閉会を宣言した。

2025年6月7日

以上、決議を明確にするためこの議事録を作成し、議長ならびに議事録署名人、出席理事がこれに記名、押印する。

一般社団法人日本地質学会2025年度総会
総会議長 森田澄人
議事録署名人 澤井みち代
議事録署名人 宮川歩夢
代表理事 山路 敦
理 事 亀高正男
(以下理事氏名略)